

令和5年4月15日

学校法人志学学園

学校関係者評価委員会報告書

開催日時:令和5年3月30日 13:00~15:00

会場:専門学校ワールドオブティカルカレッジ

参加者:学校関係者評価委員

氏名	所属
上遠 友廣	(株)バリミキ 東中国ゼネラルマネージャー
難波 宣雄	(株)玉島ナンバ オーナー
濱野 雄一郎	メガネのハマノ オーナー
金子 弘	新潟医療福祉大学 教授
浜田 康彰	時計宝石メガネのカンザキ

学校法人志学学園/専門学校ワールドオブティカルカレッジ 校長 古賀茂樹

基準 1.教育理念・使命・目的等

評価項目	自己評価	関係評価
1-1 学校の理念・目標が明確に示されているか	4	4
1-2 学校の理念・目標の実現に向け、活動計画はあるか	3	4
1-3 学校の理念・目標は教職員に共有されているか	4	4
1-4 学校の理念・目標は学生、保護者に周知されているか	4	3
1-5 学校の理念・目標は将来構想を描き、先を見据えた中間構想を抱いているか	4	4

○ホスピタリティを常に念頭に置き、相手の求めている物・事が察知でき社会に貢献できる人材を育成することが本校の使命である。楽しく学び、楽しく働く事を目標とし、眼鏡技術のプロフェッショナルを輩出することが目標。時代の流れを俊敏に察知し常に新しい知識・技術を習得できる環境を整えている。

○保護者とも、定期的に連絡をとりながら、学生の進捗状況などを報告している。

基準 2.学校運営

評価項目	自己評価	関係評価
2-1 理念・目標に基づき、学校運営方針は明確に定めているか	4	4
2-2 学校運営方針は教職員に明示され、共有されているか	3	3
2-3 学校の目的・目標達成のための事業計画が定められているか	4	4

2-4 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	3
2-5 意思決定システムは確立されているか	3	3
2-6 事業効率化を図るシステム化はなされているか	4	3
2-7 人事考課制度、給与制度は整備、共有されているか	5	3

○運営方針・目標は、常に全体会議で確認している。学生数、教職員数も多くないので、情報共有はしやすい環境。

基準 3 教育活動

評価項目	自己評価	関係評価
3-1 教育理念に沿って、各学科の目標・方針が策定されているか	4	4
3-2 カリキュラム内容は業界など外部の意見を反映しているか	4	3
3-3 カリキュラムは定期的に見直しているか	3	3
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点のカリキュラムが構成されているか	3	3
3-5 インターンシップが体系的に位置づけられているか	4	3
3-6 授業評価の実施・評価体系はあるか	3	3
3-7 科目の指導内容、方法を示したシラバスはあるか	4	4
3-8 成績評価・単位認定・進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4	4
3-9 学科の育成目標に向けた授業を行うことができる教員を確保しているか	3	3
3-10 関連業界や外部との良好な関係を保っているか	3	4
3-11 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	2	3
3-12 教職員スキル開発、向上の研修・勉強家等を行っているか	3	3

○学生との面談を担当中心に定期的に行い、習得度合の把握と、カリキュラムについての意見要望も聞いている。

○インターンシップ研修、その他研修も積極的に実施し、企業とも友好的な関係を築けている。

○教員の研修、勉強会もWebや対面それぞれ有効な方法で参加できている。

基準 4 教育成果

評価項目	自己評価	関係評価
4-1 就職率の向上が図られているか	4	3
4-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3	3
4-3 資格取得率の向上が図られているか	2	4
4-4 退学率の低減が図られているか	2	3
4-5 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
4-6 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

○学校全体では就職内定率 100%である。入学時にはなかなか将来のビジョンが持てない学生が多く見られたが、キャリア支援を担当が行い、授業担当教員との連携もあり、意識づけを行い続けた結果、就職意識が高まり得られた結果である。何よりも本人の成長と頑張りが大きい。

○在学時より、近隣の眼鏡店の見学や卒業生を招いて講演や講義を行うなど、連携を深めることにも力を入れている。

○退学率に関して、当校の特殊事情として、留学生の2年時退学者が多くなった。専門分野の学びが2年次に難しくなり、学力的にもついていくことができない、または違う分野の学び場所を求めて進学するなどが見られた。

基準 5 学生支援

評価項目	自己評価	関係評価
5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
5-2 就職に関する個別相談、指導を実施しているか	4	4
5-3 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-4 学費分納制度など、学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
5-5 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	4
5-6 定期的に健康診断を行うなど学生への健康管理体制は整備されているか	3	3
5-7 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	4
5-8 学生の生活環境への支援は行われているか	3	3
5-9 保護者と適切に連携しているか	3	3
5-10 同窓会が組織化され、活発に活動しているか	1	3
5-11 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	3	3

学生支援に対する取り組み、問題点など

○学生への支援を学校全体で行っている。特に、対面式個人面談を数多く実施し、悩みを抱えずサポートできるようにしている。

○学生の健康管理については、学生本人の自己管理(食事摂取・十分な睡眠、休養を取る等)が最も重要な要素である。生活リズムが乱れている学生や、過剰なアルバイト等で規則正しい生活が送れていない学生には、担任が指導・説諭を行っている。

○学生への経済的支援策で、留学生に対して「学生寮」の斡旋を行い学びのサポートが出来るようにしている。

○保護者との連携にも力を注いでいる。ご子息、ご令嬢の成長を感じていただくこと、学生の様子を適宜報告することに重点を置いている。定期的に送付する行事予定表、履修状況報告書、卒業発表会、卒業式典内で実施している感謝の言葉(感謝の手紙を本人が読み上げる)等で学生本人の想いを保護者に届けている。毎年卒業式では、学生一人ひとりから感謝の言葉を述べ、保護者のみなさまの感動する姿や喜ぶ姿が印象に残っている。

基準 6 教育環境

評価項目	自己評価	関係評価
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3
6-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	3	3
6-3 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について、関係機関と連携し十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-4 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	3	3
6-5 防災訓練を実施しているか	4	4

教育環境に対する取り組み、問題点など

- 各種検定試験会場として施設の利用を行っている。また定期的な建物保全の整備を行っている。
- 平井地域の災害避難指定場所として、備蓄食料や飲料の管理をしっかりと行っている。
- 岡山市消防局の指導のもと、適切な自主的な避難訓練も実施している。

基準 7 学生の募集と受け入れ

評価項目	自己評価	関係評価
7-1 学生募集活動は、適正に行われているか	3	3
7-2 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3	3
7-3 学生募集において、就職実績・資格取得実績・卒業生の活躍などの教育成果は正確に伝えられているか	3	4
7-4 学納金は教育内容、学生および保護者の負担軽減を考慮し妥当なものとなっているか	4	4

学生の受入れ募集に対する取り組み、問題点など

- 学生募集活動はオープンキャンパス開催、高校訪問・高校内ガイダンス授業への参加等を中心に行っている。まずは学校のことを先生に知ってもらい、次に眼鏡分野の職場状況を適正に伝えている。その際に、都合の良い情報や成果だけでなく、不利になるような情報、結果も隠さずに伝えることで、信頼関係の構築を真摯に図っている。(学生の退学事例、就職活動結果等)

基準 8 財務

評価項目	自己評価	関係評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	3
8-2 財務について会計監査が適性に行われているか	5	5
8-3 私立学校における財務情報公開の体制はできているか	2	3
8-4 私立学校における財務情報公開の形式は考えられているか	3	3

財務に対する取り組み、問題点など

○財務情報の公開を行っている。

○課題は学生数であり、収入源である学生授業料納付金などが大きく影響を受ける。

基準 9 法令の遵守

評価項目	自己評価	関係評価
9-1 法令や専修学校設置基準が遵守され、適正な運営がなされているか	5	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	5	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と、問題点の改善に努めているか	4	4
9-4 自己点検・自己評価は関係者に対して正確に伝わっているか	3	2
9-5 自己点検・自己評価は公開しているか	1	1

法令等の遵守に対する取り組み、問題点など

○個人情報を保護するために最低限のルールは守られている。

基準 10 社会貢献

評価項目	自己評価	関係評価
10-1 学校の資源を活用し、社会貢献・地域貢献を行っているか	4	5
10-2 学校施設・設備を開放するなど地域社会と連携しているか	5	5
10-3 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	4

社会貢献・地域貢献に対する取り組み、問題点など

○眼鏡を通しての社会貢献活動がカリキュラムに組み込まれている。授業以外では、とくに眼鏡のクリーニングを関係施設や地域のコミュニティ広場で実践しており、学生有志により参加している。

IV. 外部委員からの意見聴取(ご発言順)

新潟医療福祉大学 教授 金子 弘 様

コロナ禍でもあり様々な行事や授業計画が思い通りに進められなかったと思います。学生数の確保もそうですが対面でしかできない授業も多くあったり、学生同士の交流が制限されたりと学校運営は様々な課題が突き付けられました。とくに専門学校は実習授業が多いので大変苦慮されたかと思います。

眼鏡の分野では国家検定資格が出来ましたよね。それによって学生募集活動には大きな変化はありましたか？我々としては国家資格などの資格取得は学生が目指すものとして説明しやすいですし、やはり手に職をつけることが自信にもつながります。学校のアピールポイントで言うと資格試験の合格率も重要で必要なことだと考えます。

古賀:はい、本校はもともと少人数でしたのでコロナの影響は最小限で済みました。少人数に満足している

わけではなく、本来はもっと多くの学生に入学していただき、眼鏡の仕事に必要なホスピタリティの mindset を持った学生の育成を通して世の中に貢献していきたいと考えています。「眼鏡作製技能士」の資格に関しては一早くカリキュラムも検討し、在学中に資格取得できるようサポートしていきます。

時計宝石メガネのカンザキ 浜田康彰様

小さな町の眼鏡店では地域に根付いた活動が大事です。若い人もどんどん減っていますし、眼鏡を必要とする高齢の方へのケアが必須になっています。遠方に足を運ぶのが難しい人が増えていますので、この学校で学ぶホスピタリティや人間性の育成は期々と将来役に立つものになると信じています。

古賀:ここ数年は岡山県以外の入学者も増えています。中国四国地方がメインですが都市部にはない地域に根差した眼鏡店の必要性も高くなりますね。求人という最上級生が就職活動で内定をいただいてからも多くの企業から声は掛かります。今は需要があり引く手数多ですので、学生募集が今後もカギになります。

(株)パリミキ 東中国ブロック GM 上遠友廣様

弊社でインターンシップを行っていた貴校の学生さんを数名みましたが、挨拶もしっかりできるしお店のスタッフともしっかりとコミュニケーションをとってお客様とも話が出来る学生さんが多かったです。企業からすると、新入社員の教育も年々多様化が求められ難しくなっています。あまり厳しくしすぎてもよくない風潮がありますが、お客様にとって最善を尽くすために守るべきルールもありますので、若いころから素養を身につけておくと会社からは重宝されますよ。

古賀:いつも快くインターンシップ研修を受け入れてくださりありがとうございます。授業内では出来るように指導していますが、実践でどうか不安でしたので学生の様子を聞いて安心しました。本校は2年または3年間かけて育成する責任がありますので、まだまだ足りない部分も多いと思いますが今後ともご指導いただければと思います。

以上で閉会となりました。